



藤野の観光スポット 1

「日連アルプス」をご存知ですか？

藤野に「アルプス」があることをご存知でしょうか。標高 400m 前後の低山を中心とする山並みに囲まれる藤野ですが、何と「アルプス」があります。その名も「日連アルプス」。日連の金剛山から峰山、八坂山、杉峠を経て日連山、宝山と続く山々が「日連アルプス」と呼ばれて久しくなります。その世界では知られた方がこの一帯を「日連アルプス」と名付けたのがきっかけと聞きますが、詳細は不明です。結構知られるようになり、今年 4 月 20 日付、読売新聞夕刊、みなみらんぼう氏の連載記事「一歩二歩山歩」でもこの一連のコースが紹介され、そこが「日連アルプス」の名を冠されていることにも触れています。

しかし、地元の方にとってはまさに寝耳に水の「日連アルプス」登場ではないでしょうか。そこで自治会関係者に事情をお話しして、「『日連アルプス』と称していいものだろうか」と伺ったところ「もう定着してきているんならそれでいくしかないだろう」ということで、一応のお墨付きをいただきました。

「日連アルプス」はハイカーにとって、いくつかの利点があります。①藤野駅から歩いて行って歩いて帰れる、②登り始めにはそれなりの坂があるものの登ってしまえば尾根伝いに歩くことになり、それほどの負担がない、③峰山山頂をはじめ、要所に見晴らしの良いポイントがある、④駅からの往復所要時間が休憩を入れても 4 時間程度しかかからず、もう一つのお楽しみとも組み合わせることなどです。ハイキングの後の冷たいビール、温泉などとの組み合わせも楽しめるのではないのでしょうか。



ところで、この「日連アルプス」、地元の杉自治会、日連自治会が整備に力強く協力してくれています。昨年度はコース全体に道標を設置し、急坂にロープを張り、金剛山山頂に休憩用のベンチセットを設置しました。さらに今年度は、観光協会とも協力して、「日連アルプス」ハイキングマップ、出入り口への案内板設置なども行う予定です。

地元と協力しながらコース整備を進め、ハイキングを楽しむ方がよりたくさん訪れてくださることを願っています。



総会 開催される

去る 5 月 15 日（月）、一般社団法人藤野観光協会の社員総会が開催されました。平成 28 年度の事業報告、決算書そして 29 年度の事業計画、予算書が滞りなく承認されました。



29 年度に新たに入会された 4 団体も紹介されました。食品メーカー・飲食業者と連携して食べ物を通じたボランティア活動を展開する「一般社団法人エコ食品健研究会」、相模湖を望む観光ホテル「ラトゥア」、古民家を生かしたアートギャラリー「studio fujino」、24 時間演奏可能なスタジオを備えた音楽小屋「マックスハウス」の皆さんです。

総会后、藤野やまなみ温泉で行われた懇親会には若い方も多数参加していただき、多方面にわたる話は尽きず、大いに盛り上がりました。

いろいろな観点からその魅力が評価されつつある藤野を、観光を通して一層楽しいまち、面白いまちにしていきたいと思えます。引き続きご理解、ご支援をいただけますようお願いいたします。



登山ポスト

最近ブームになっている登山ですが、楽しい登山は安全あっての話です。そして安全な登山のための第一歩は「登山カード」の記入です。藤野では、佐野川交番のご尽力があり、現在藤野観光案内所「ふじのね」、和田バス停、和田峠、生藤山入口にそれぞれ「登山ポスト」が設置されています（他に相模湖観光案内所にもあります）。「登山ポスト」設置場所については津久井警察署 HP「地域課」でみる事ができます。登山カードは「ふじのね」、和田峠においてあります。神奈川県警察の HP「暮らしの安全情報」からメール送信で届けることもできます。「登山カード」、「登山ポスト」を活用し、安全に登山をお楽しみください。

